

令和7年度 年次事業評価書 (評価対象年度: 令和6年度)

施設名: 日進市にぎわい交流館

概要	施設所在地・所管課	日進市蟹甲町中島277番地1	所管課: 地域共生課
	設置目的	市民の様々な交流を促進することにより、健全な地域社会の形成に寄与するため。	
	指定期間・選定方法	令和6年4月1日 ~ 令和11年3月31日	選定方法: 公募
	指定管理者	所在地 名古屋市中村区太閤四丁目6番22号	団体名・代表者 コニックス株式会社 代表取締役 吉田 治伸

	令和5年度	令和6年度	前年度比
指定管理料(市委託料)	24,399千円	36,300千円	148.8%
利用料金収入	800千円	799千円	99.9%
施設利用者数	17,365人	18,589人	107.0%

分類	評価項目	評価基準	評価点 (5~1点)
共通評価事項	1 法令等遵守	法令、条例、業務仕様書等に基づき、必要な施設の維持管理、点検、報告等が適切に行われている。	4点
	2 清掃業務	業務仕様書に基づき、清掃業務・維持管理が、適切に行われている。	4点
	3 保安警備業務	業務仕様書に基づき、保安・警備業務が、適切に行われている。	4点
	4 業務の委託	第三者への委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切に行われている。	4点
	5 業務記録	業務日誌及び点検、修繕等の履歴を適切に整備し、保管している。	4点
	6 職員の配置	必要な資格、経験を有するものなど、事業計画書に即し、人員を過不足無く配置している。また、従業員の労働条件、賃金水準が、適正に確保されている。	4点
	7 職員研修	施設の設置目的達成のために必要な研修・教育が、適切に行われている。	4点
	8 個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策を適切に講じられている。	4点
	9 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保され、また、マニュアルが整備されている。	4点
	10 施設利用の状況	利用者数や施設の稼働率は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4点
	11 利用促進業務	施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動が適切に行われ、その効果が認められる。	4点
	12 利用者支援業務	施設利用者が円滑に活動できるように、必要な指導・助言が適切に行われている。	5点
	13 モニタリング	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組が適切に行われている。また、事業報告書等による市への報告・説明が、適切に行われている。	4点
	14 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が、適切に行われている。	5点
	15 収支の状況	利用料収入は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4点
	16 予算執行	施設の事業収支は、適切な手続きに沿って執行されている。	4点
特記事項	標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由	【12 利用者支援業務】 施設管理者は、利用者の「2階会議室への移動は、階段の段差が大きくエレベーターもないので移動がしづらい。」という意見を聞き、会議室の場所を2階から1階の団体専用事務室と入れ替える対応を行った。この変更は、利用者からの声を受けて実施されたもので、特に高齢者や体力に不安のある利用者に配慮した点が評価される。また、会議室の移動により、施設内の動線が改善し、階段での事故リスク軽減にもなり、利用者の利便性が向上した。また、部屋の移動に関して、団体専用事務室を利用している団体にヒアリングと説明を行い、理解を得て実施ができた。	
	標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由		
	その他特記事項	【14 自主事業】 施設管理者は、自主事業「にぎわいおひるごはんの日」を積極的に運営し、特に木曜日においてはほぼ毎週食事提供が実現した。ワンデイシェフが休みとなる日に開催することで、安定的な提供を実現したものである。また、学校給食課からの依頼を受けて、学校給食のメニューを取り入れるなど、地域性と利用者のニーズを反映させたメニューの提供を行った。この取り組みは、市民からの好評を得ており、年間食数は、全団体の中で2番目の実績を上げる結果となった。今後も安定的な提供とメニューの工夫を通じて、地域住民のニーズに応えることが期待される。	
	(施設所管課) 改善に向けた助言等の内容	ワンデイシェフランチの提供を希望する市民が多いため、市民活動の第一歩に向けて、にぎわい交流館PRにつながるワンデイシェフランチ利用者数が増加する取り組みをお願いしたい。また、市のクーリングシールドの指定を受けているので、夏季はにぎわいドリンクでスポーツ飲料水が購入できる対応をお願いしたい。	

個別評価事項 (設置目的に応じた内容)	1 相談・支援業務	施設の設置目的を踏まえ、相談業務の体制の整備と実施及び必要な支援に取り組んでいる。	4	点
	2 情報の受発信	市民自治活動に関する情報の収集や発信に努めている。	5	点
	3 地域との連携	地域や関係団体等との連携や協働の推進に努めている。	4	点
	4 人材育成等	市民自治活動を担う人材育成に取り組んでいる。	4	点
	特記事項	<p>標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由</p> <p>【2情報の受発信】 若年層の利用者が多いフェイスブックやインスタグラムなどのソーシャルネットワークを積極的に活用し、多くの利用者や住民に対して効果的に情報を届けることができた。特に、写真を活用した発信は視覚的な訴求力が高く、利用者の関心を引くとともににぎわい交流館の認知度向上に寄与した。今後も、SNSの特性を踏まえた情報発信を継続し、利用者のさらなる拡大を期待する。</p> <p>標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由</p> <p>【3地域との連携】 「にぎわい夜桜の日」は、にぎわい交流館を利用したことのない市民に対して、周知と利用促進が効果的に行われた。この取り組みは、施設の存在を広く認知してもらい、新たな利用者層を開拓する重要なステップとなった。参加者の年代も10代から70代と幅広く、多世代の市民が施設を活用する姿が見受けられた。今後もこのような地域との連携を深め、継続的に実施することで、施設の認知度向上と地域活性化につなげることが期待される。</p> <p>(施設所管課) 改善に向けた助言等の内容</p> <p>自主事業の講座について市民団体の活動が多様化しているため、現在、関心はあるが参加できていない方々に対して、講座のオンライン配信による参加や、録画した動画の配信などの対応をしていただきたい。</p>		

総評	課題点に対する取組状況 ※昨年度指摘した課題は解消されたか。	<p>昨年度の改善に向けた助言として、「団体アンケートや団体へのヒアリング等をもとに、市民活動団体が求めている支援に柔軟に対応してほしい」との意見があった。これに対して、施設管理者は積極的に団体からのフィードバックを収集し、その意見をもとに支援内容を見直し、柔軟に対応する取り組みを進めた。具体的には、市民活動団体のニーズに応じた支援方法の改善(2階会議室と1階団体専用事務室の入れ替え、和会議室の座椅子を常時使用できるよう導入)や、新たな講座の実施(個人情報保護講座、地域環境円卓会議)を行うなど、多数の意見に対して適切に応じる体制を整えた。その結果、団体からの評価も高く、支援の質が向上したことが確認できる。今後も、引き続き団体からの多数の意見に対して対応していくことで、さらに効率的で効果的な支援が行えるよう取り組むことが求められる。</p>	合計	83	点
	一年間の総評 ※点数では表すことができない、指定管理者の管理運営業務における創意工夫や改善等を幅広く記載する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業時間変更を実施したが、前年度に夜間利用する団体の実態調査を行った上での時間変更ということもあり、利用者からの苦情はなく、スムーズに運営が行われた。</li> <li>・わいわいフェスティバルで中学生、高校生ボランティアを受け入れ、次世代の地域活動への関心を促進する取り組みを実施し、新たな世代とのつながりを作ることができた。</li> <li>・にっしんシニアパスやくるりんばすに関する問い合わせに迅速に対応するなど、市民からの問い合わせに対応できた。</li> <li>・市民活動に関する研修に参加し、市民活動を行っている他団体や他自治体の担当課とつながりを持つことができ、運営の参考となるネットワークを構築できた。</li> </ul>	総合判定		A

判定基準	5点…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	4点【標準点】…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	3点…基本協定書等の内容は遵守されているが、これを上回る部分がなく課題の解消が必要な部分がある。
	2点…基本協定書等の内容を一部下回るものがあり、改善に対する課題がある。
	1点…管理運営が適切に行われたとは認められず、抜本的な改善を要する。

総合評価基準	S【優良】合計85点以上…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	A【良好】合計70点～84点…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	B【適正】合計60点～69点…一部に課題の解消が必要な部分があるが、概ね妥当である。
	C【改善】合計50点～59点…期待する水準を満たす状況になく、改善が必要である。
	D【抜本的改善】合計49点以下…期待する水準を大幅に満たしておらず、抜本的な改善が必要である。